

助動詞 do を使った文章

動詞編に do「する」がありました。この do は一般動詞 というものです。

一般動詞 とは？・・・be動詞のように、自力で 文を仕上げてしまうのではなく 助動詞に力を借りて 文を作る動詞で ほとんどの動詞がこの 一般動詞です。

では、助動詞 do と一般動詞 do の違いとは？

一般動詞 do	<ul style="list-style-type: none">・現在形—過去形—過去分詞形 の3つの活用形・「する」という意味がある・助動詞 do を使って 疑問文 や 否定文 を作る
助動詞 do	<ul style="list-style-type: none">・現在形—過去形 の2つの活用形・一般動詞の疑問文や否定文、be動詞の命令文を作る手伝いをする。・動詞の強調に使う。「本当に勉強する」など

do、does、did の3つは 何のためにあるのでしょうか？

文中の動詞の形に合わせ、手伝う動詞を見つけやすくするためです。

疑問文

肯定文(疑問文でも否定文でもない文)から疑問文に変える、という大役をまかされた助動詞は 大文字で胸を張って、先頭に立ちます。その時、自分に似た形の動詞を手伝いにいきます。

Do	動詞が原形のもの
Does	動詞にsがついているもの
Did	動詞が過去形のもの

You play baseball. ⇒ Do you play baseball?

He plays baseball. ⇒ Does he play baseball?

They played baseball. ⇒ Did they play baseball?

※疑問文や否定文で助動詞に手伝ってもらった動詞は、原形に戻れます。

助動詞 do の現在形 と 過去形

それぞれ前にくる主語は決まっています。

現在形	do	主語が I、We、You、They の時
	does	主語が He、She、It、Tom などの時
過去形	did	主語が 全ての人称の単数・複数 の時

助動詞 do、does、did の文中での役割

まずは、それぞれの文字をよく見てみましょう。

do	もともとの形、原形
does	do は o で終わっているの es をつける、つまり 名詞の複数形 s のルールに従った形
did	do に過去形をしるす ed を合わせた形

否定文

肯定文から否定文に変える時も、助動詞は 自分に似た仲間を手伝いにいきますが、動詞を否定するので 動詞の前に立ちます。

do not(短縮は don't)	動詞が原形のもの
does not(短縮は doesn't)	動詞にsがついているもの
did not(短縮は didn't)	動詞が過去形のもの

You play baseball. ⇒ You do not play baseball.

He plays baseball. ⇒ He does not play baseball.

They played baseball. ⇒ They did not play baseball.